



# 集団感染事例 (クラスター) から考える

新型コロナウイルス感染症対策研修会

北空知地域医療介護確保推進協議会

(2022年8月25日)

社会福祉法人揺籃会


特別養護老人ホーム清祥園

施設長 山崎 智 広

どこか私たちは他人事でした

どこかで「大丈夫」と根拠のない自信を持っていました

発症（感染）しても何とかできる（なる）と思っていました



大きな  
間違いでした

# 管内最大のクラスターとなっております

令和4年2月25日  
北海道新聞

## 空知新規感染105人

道が24日発表した新型コロナウイルス感染者は、空知管内で新たに105人が確認された。新規感染者が100人以上となるのは5日ぶり。105人のうち、80人は既に感染が判明している患者と接触があった。

クラスター(感染者集団)が発生している施設のうち、17日公表の管内の特別養護老人ホームで新たに職員14人、入所者29人の感染がわかり、計71人となって管内で過去最大のクラスターとなった。

このほか、1日公表の管内の医療機関で入院患者が2人増えて計50人、滝川市の特別養護老人ホームで入所者2人が増えて計29人、赤平市の有料老人ホームで入居者2人が増えて計17人、13日公表の管内の医療

機関で職員1人、入院患者6人が増えて計25人となった。

沼田町は町教委職員1人の感染を発表し、町生涯学習総合センターゆめつくるを3月1日まで休館とした。児童や生徒、職員の感染判明に伴い、滝川市では小学校1校が学年閉鎖、保育所1施設が臨時休園となり、月形町では小中学校がいずれも学校閉鎖となった。空知教育局は空知管内の特別支援学校1校で生徒が感染、当面1クラスを学級閉鎖にしたと発表した。

### 新型コロナウイルス 新規感染者

空知管内105人

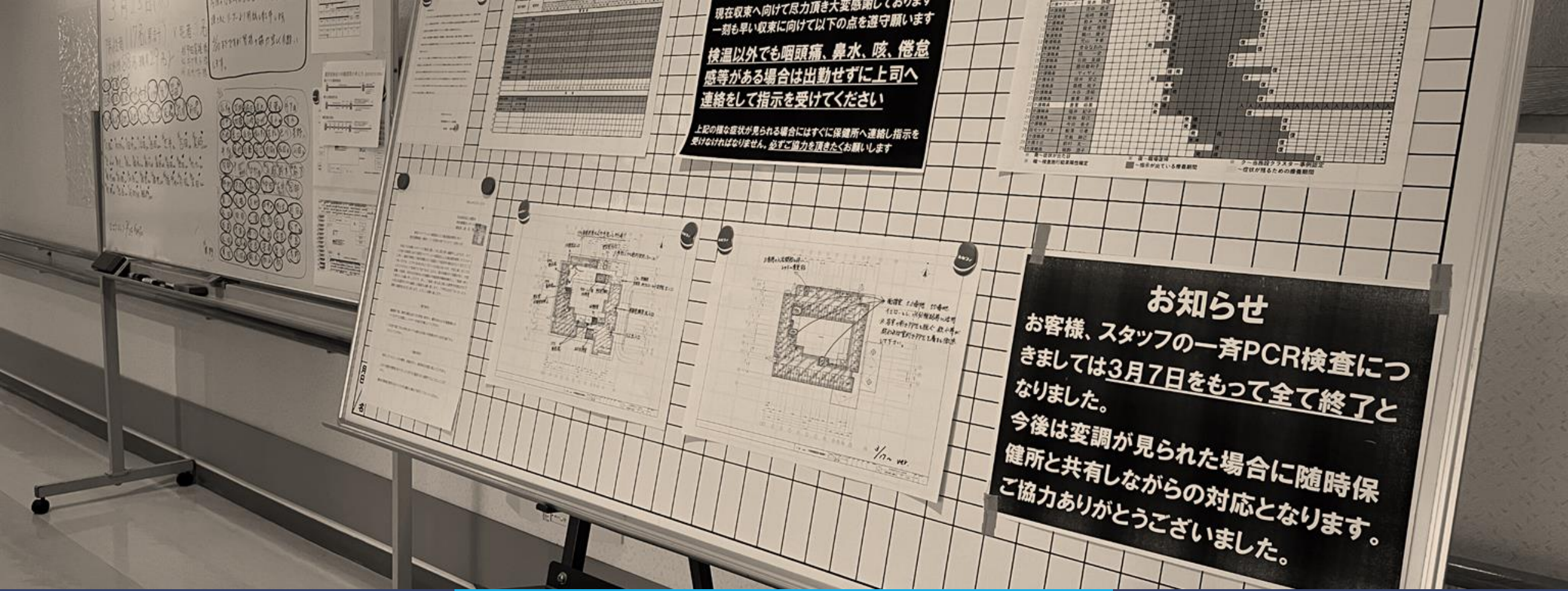
— 累計4559人  
(24日、道発表)

令和4年2月14日の発症から  
瞬く間に感染拡大…

10日間で**71名**となり新聞報道では「管内最大のクラスター」と掲載されました…

さらに17日間で**117名**にまで感染拡大をさせてしまう結果となりました…





現在収束へ向けて尽力頂き大変感謝しております  
一刻も早い収束に向けて以下の点を守ります  
検温以外でも咽頭痛、鼻水、咳、倦怠感等がある場合は出勤せずに上司へ連絡をして指示を受けてください  
上記の様な症状が見られる場合にはすぐに保健所へ連絡し指示を受けなければなりません。必ずご協力を頂きたいをお願いします

**お知らせ**  
お客様、スタッフの一齐PCR検査につきましては3月7日をもって全て終了となりました。  
今後は変調が見られた場合に随時保健所と共有しながらの対応となります。ご協力ありがとうございました。

# 私どもの施設でのクラスターの概要

# 私たちの取り組みで・・・

項目	ご利用者	職員	合計
陽性者数	88名	29名	117名
入院者数	15名	1名	16名 (延日数262日)
死者	3名	0名	3名

2月14日発症、2月15日クラスター認定、  
3月18日療養観察期間終了、3月19日経過観察期間開始、3月28日終息

# 1. 標準予防の不備

- クラスタ発生までは「できているだろう」「大丈夫だろう」  
→ **ただの過信にしか過ぎず、周囲の情報は他人事**
- 共用部はそのまま、つい顔を触る、マスクを触る、アルコール消毒は不十分  
→ **基本的な感染対策の知識が染みていない**
- ガウンの脱ぎ方はバラバラ、指導もバラバラ  
→ **エビデンスではなく、上っ面だけの理解**

## 2. 初動対応の不備

- ゾーニングの甘さ
  - オミクロン感染速度と自分たちの描く対応の乖離
- 職員の防護の甘さ
  - 手技の不統一、マンパワー不足による施設内の往来
- 衛生品の備蓄不足
  - 陽性者 = 医療機関入院との考えからの予測量の乖離



### 3. 解決方法の不備

- 周困への助言、指導を求めず自己解決を図った
  - 周困への早期の応援要請、助言・指導の不足
- 何とか事業所内でできるのではと先手を打たなかった
  - 法人内体制、支援事業の早期の対策不足
  - マンパワーの想定を考えきれなかった
- 役割体制が明確にできず、流れに巻き込まれた
  - 責任者の配置の問題

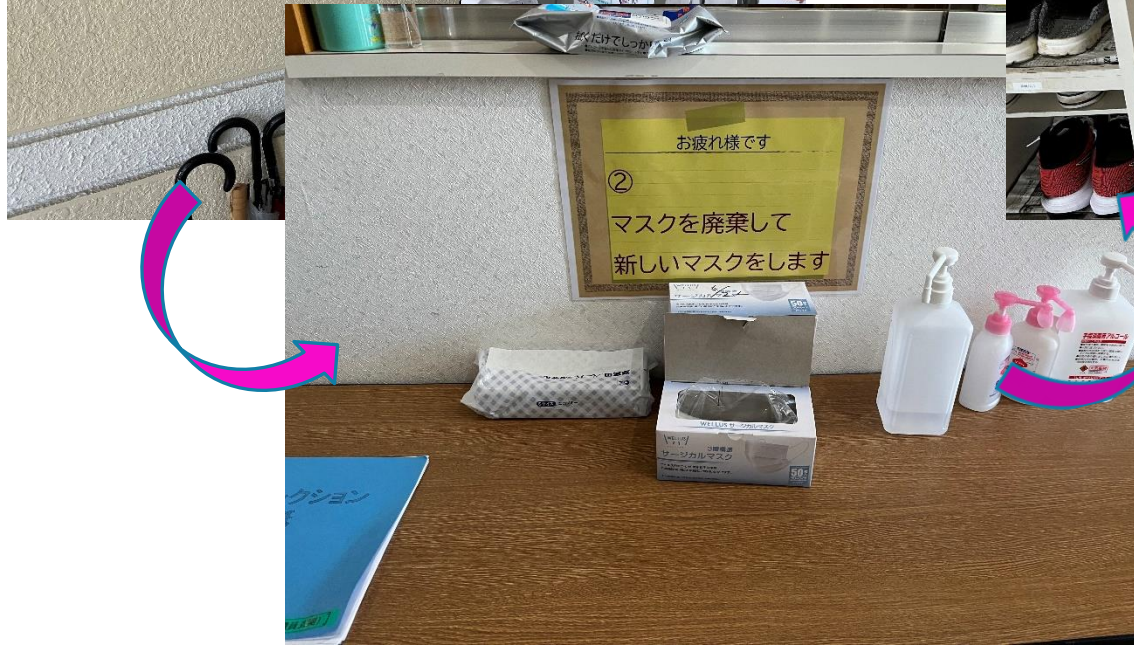


## 考察と振り返り

# 次に繋げるために①

- **施設に持ち込まない、拡大させないための対策**
  - ・三密の回避及び標準予防策の徹底
  - ・職員の体調管理の徹底
  - ・食事や休憩時の感染予防対応
  - ・衛生品の適切な在庫管理
  - ・平時における共用物品の消毒の徹底

# 次に繋げるために①





# 次に繋げるために①



## 次に繋げるために②

### ■ 職員の教育に関する対策

- ・PPE着脱に関する手技の標準化
- ・指導者の育成及び反復訓練の実施
- ・外部からの情報を得るための研修の実施
- ・平時、発生時、拡大防止に沿ったマニュアルの作成
- ・感染対策へ向けての組織作り

# 新型コロナウイルス 感染対策マニュアル策定

## 主な内容

- 平常時の対応

推進体制表(組織図)/報告チャート/伝達の流れ/標準予防訓練 など

- 感染(疑い)者の発生

症状の確認 など

- 初動対応

第一報/居室移動・ゾーニング/消毒方法 など

- 陽性者の発生

保健所との連携/対応職員の設定/食事提供/廃棄物/職員確保  
滞在先の確保 など



新型コロナウイルス  
感染対策マニュアル

社会福祉法人掬籃会 特別養護老人ホーム清祥園



# マニュアル 様式、資料集

- ・健庫管理シート  
(お客様、職員)
- ・来訪者名簿
- ・申告書
- ・連絡網
- ・備品リスト
- ・施設外など連絡リスト
- ・業務分類  
(優先業務の選定)

## I PPE の着衣方法 - ③ガウンを着る。

### 【注意点】

- ガウンは床面に接触させないこと。



首元は露出しないように 手首部分も露出しないように  
(難しい場合は手洗い、手指消毒を念入りに行なう)



×悪い例



## 次に繋げるために②

### 手技の標準化、反復訓練の実施

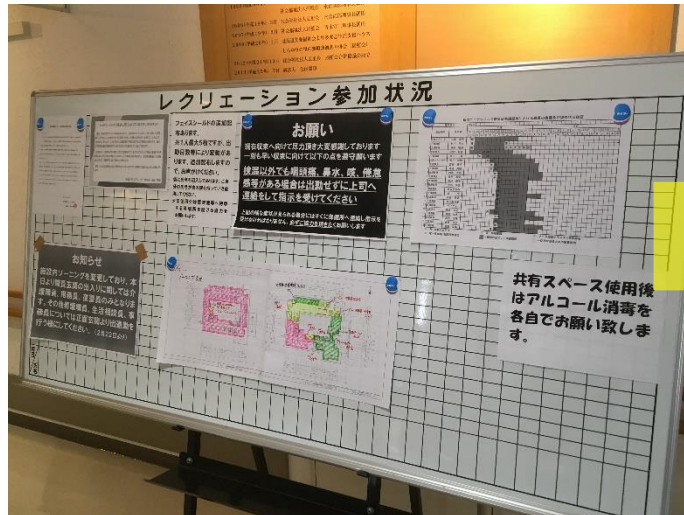
- ・現在月 1 回全職員を実施
- ・新採用職員にも同様に新任研修  
へカリキュラムとして追加する



# 次に繋げるために③

## ■ 情報共有ツールの確立

- ・外部情報の収集
- ・施設内共有ツールの確立





## 課題は多し…

---

- 職員へ骨の髄までの染みこませる…  
頭で考えるのではなく、体へと自然に  
動ける様に
- マニュアルの形骸化を防ぐ…  
やらされ感→負担感→形骸化
- 感染委員会委員のマイスター育成…  
次への継承準備





## 法人としての取り組み



# 皆様からの受援を支援として

## 法人として感染対策PJチームの発足

- ・総合相談・企画部門

感染対策関連の相談業務及び企画調整を司る

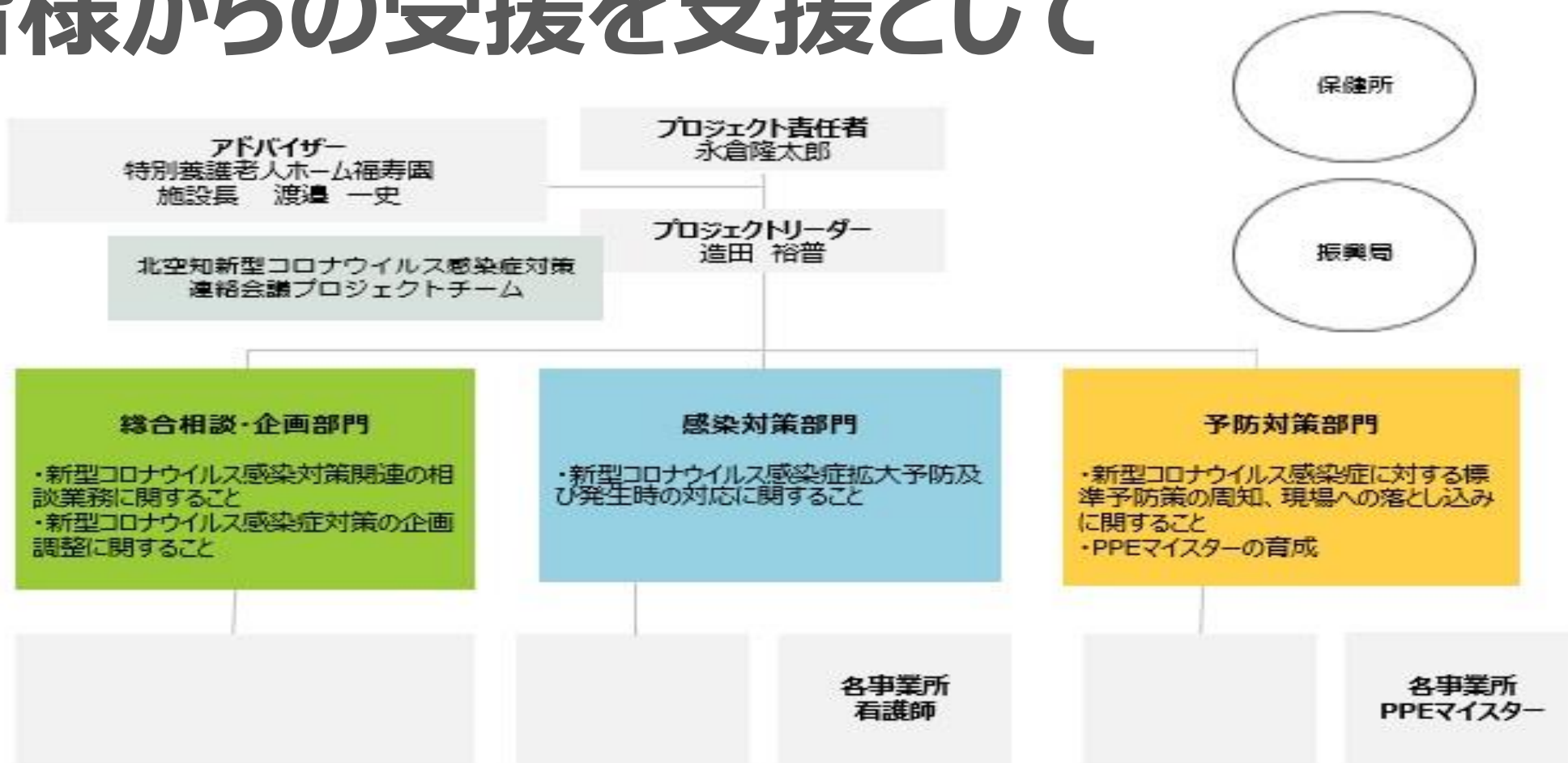
- ・感染対策部門

感染拡大予防及び発生時の対応を司る

- ・予防対策部門

感染の標準予防策の周知、現場への落とし込み、マイスター育成

# 皆様からの受援を支援として



## ※ PPEマイスター★★★

PPEマイスターとは、各事業所に1名を配置し、職員が必要時にPPEの着脱に対し問題なく行えるよう育成する部門となります。また派遣時にはPPE着脱に対して技能の習得を支援することも専門的に行うこととなります。

# 最後に今一度…

- 平時の準備さえできていれば何も恐れなくても良い
  - PPE着脱の手技→手技ではなくエビデンスで伝える(反復)
  - 衛生品の想定数を決めての備蓄
  - 標準予防の必要性の教育→エビデンスで伝える(反復)
  - 感染時における組織体制の確立
  - 施設の限界点を考える→マンパワー、ハード
  - 宿泊提供のリサーチを行っておく

■ 私たちが今伝えられること…

- 正しく恐れること
- 「やるか、すぐやるか」を考え  
一人ひとり、組織が「すぐやる」  
を選択し行動すること



ありがとう  
ございました

今後とも、変わらぬお力添えを私どもにお願い致します。

頂いた受援はお返ししたく、ご用命があればぜひお声をお掛けください。